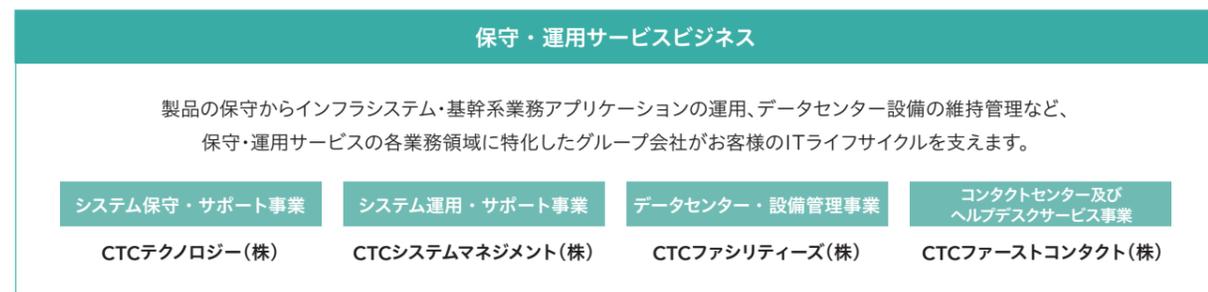


CTCグループ丸でのサポート体制

グループ会社と共に提供するトータルサポート

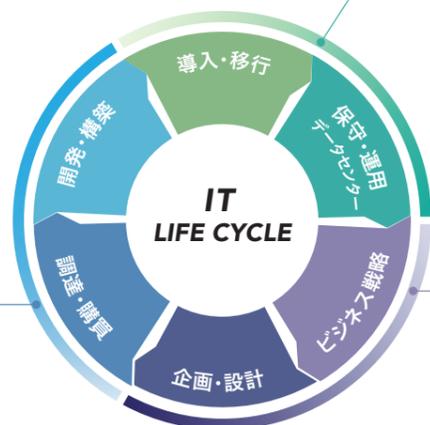
CTCグループ全体でお客様のITライフサイクルをカバーしています。海外では北米拠点で新技術を開発し、ASEANでは日本のSIの力を展開。国内外でグループの総合力を発揮しています。



製品販売ビジネス

お客様のニーズに沿ったベストソリューションを提供するため、国内外の先鋭的でユニークな製品を用意する体制を整えています。

CTCエスピー(株)



お客様に特化したビジネスを展開

お客様独自の業務プロセスに合わせたシステム開発や、業界特有のソリューションの提供など、お客様企業や業界に特化してビジネスを展開しています。

アサヒビジネスソリューションズ(株)

CTCグループ会社の詳細は、コーポレートサイトをご覧ください。
<https://www.ctc-g.co.jp/company/about/group/>

海外拠点



国内サービス拠点

札幌開発センター
ニアショア開発拠点として、地方都市の高い開発力を活用しながら確かなセキュリティ環境下で高品質の開発サービスを提供します。また、開発コストを削減するだけでなく、首都圏のエンジニア不足への対策や、地域活性化などの問題の改善に寄与しています。

リモートオペレーションセンター(ROC)
遠隔地からお客様のITシステムを24時間365日体制で運用・監視するサービス(ROCモニタリングサービス)を提供しています。また、監視サービスと連動した自動通知サービス・自動運用サービスも併せて提供しています。

CTCセキュリティオペレーションセンター(CTC-SOC)
遠隔地よりお客様のセキュリティ機器の状況を24時間365日体制で監視し、緊急時の対応、機器の設定変更や運用などを一元的に行うCTCマネージド・セキュリティサービス(CTC-MSS)を提供しています。

サービス拠点の詳細は、コーポレートサイトをご覧ください。
<https://www.ctc-g.co.jp/company/about/corporate/access>

Column

社会生活の基盤となるITシステムを支え続けるために

地方で積み重ねた経験

CTCテクノロジー(以下:CTCT)に私が入社したのは、2005年でした。振り出しは埼玉県で、その後、宮城県に移って2020年まで地方で働きました。システム障害が起こった際にお客様からの問い合わせを受け付け、障害の切り分け、機器の交換などに当たることが私の仕事でした。多くの社員を抱える都市部と異なり、地方では広大なエリアに点在する多様なお客様を限られた社員でカバーします。技術領域の得意不得意に関係なく、1人で十から十まで対応しなければなりません。私自身、CTCTに入社する前はネットワークの工事に関わる現場責任者をやっていたが、お客様の要望に応えるため、サーバやストレージなど、経験の少ない領域でもやり切れないといけない。それは挑戦と勉強の毎日でした。取り扱い製品の多さに魅力を感じてCTCTに移ったので、充実感があり、技術力が身につきました。もう一つの財産は、お客様とのやり取りを通じて得たコミュニケーション力です。その上でお客様に満足いただけるよう努める「ホスピタリティ」。それがCTCTのバックボーンであることを、2020年に本社に移って以降も日々、感じています。

ホスピタリティを大切に

CTCTは、CTCグループでシステム稼働後の運用保守のサポートに当たっています。社会生活の基盤となるITシステムを支える役割です。だからこそ、誰一人取り残さないという考え方は欠かせません。

ITに関しては人によって知識や経験はまちまちです。システムについて精通している方もいれば、初歩的な質問をされる方もいます。お客様と真摯に向き合い、共感を得ることで、お客様の求めているものを想像することができます。そして、お客様の気づいていないニーズに応える半歩先の提案ができるようにしたい。それがCTCTの「ホスピタリティ」です。

半歩先を見るには、技術力が当然必要です。CTCTは、社風としてチャレンジ精神が根付いており、新しいものに対する感覚が高く、社員の成長を積極的に支援しています。私自身も新たなソリューションを探るワーキンググループに参加し、AIや自動化など保守との関わりが薄い分野に関しても知識の獲得に努めています。お客様の期待を超えるサービスを創り出した。私たちはそう考えています。



CTCテクノロジー株式会社 馬目 勲